

便秘

Q8 リン吸着剤のフォスブロック[®]を1日18錠服用しています。便秘がひどく、下剤を服用していますが毎日難儀しています。カルタン[®]では全く便秘がありませんでした。主治医の先生は「フォスブロック[®]のほうが体に良い」というので続けていますが、どうしたら良いでしょうか？

A8 現在リン(P)を吸着するクスリには炭酸カルシウム製剤(カルタン[®]など)と塩酸セベラマー(フォスブロック[®]など)の2種類がありますが、Pはカルシウム(Ca)と一緒に考えることが重要です。もともと血液中のCaとPはバランスをとって調節されており、Caが増えるとPが減り、Pが増えるとCaが減るという関係にあります。腎不全では、本来Caが低下してPが増えるので、足りないCaを補給して余分なPを吸着する炭酸カルシウムは理にかなったクスリでした。

血液中のCaが不足しPが過剰になると、骨を分解してCaを増やそうとするので、骨がもろくなって骨折しやすくなったり、ほかにもさまざまな合併症を起こします。透析の進歩やビタミンD製剤(ロカルトロール[®]など)の使用により、不足したCaを補うことは容易になりましたが、余分なPを透析ですべて取ることは難しく、現代の透析患者さんはCaもPも高い傾向にあります。

CaとPが両方とも高いと、血管壁に石灰として沈着し、血管が狭くなって血流が悪くなります。具体的には、心臓の血管が狭く

なって心筋梗塞を起こしたり、足の血管が狭くなって、歩くとすぐ足が痛くなったり、ひどいと安静にしているでも痛くなったり、潰瘍ができたりします。そのようなことを予防するために、Ca×Pを60以下にすることが推奨されています。

そこで、Caを含まないPを吸着するクスリとして登場したのがフォスブロック[®]であり、炭酸カルシウム製剤と比べて、実際に血管の石灰化が軽度であることが証明されています。良いクスリなのですが、ご質問のように便秘になりやすいことが難点です。下剤の調整や、適度な運動を行うことにより便通の調整ができるようであれば、フォスブロック[®]を継続されることをお勧めします。下剤にもプルゼニド[®]、ラキソベロン[®]、ソルビトール[®]などさまざまありますし、食物繊維補助食品により便通が良くなる方もいらっしゃいます。

先生方と便通についてもう一度よく相談し、それでも難しければカルタン[®]に戻すのが良いのではないのでしょうか。

(乳原善文、山内淳司)

虎の門病院 腎センター・医師)